

平成 26 年度 木更津市社会教育委員会議 第 1 回定例会 議事録

日 時：平成 26 年 5 月 8 日（木）午後 3 時～5 時 15 分

会 場：木更津市役所 6 階会議室

出席者 蘇我委員（議長）、石井委員（副議長）、野中委員（副議長）、伊藤委員、平田委員、
榛沢委員、宮崎（恵）委員、武田委員、青木委員、李委員、地曳委員、内田委員、
石村委員、（13 名）

事務局 初谷教育長、齊藤教育部次長、石井生涯学習課長、佐々木主幹、篠田副主幹、堀田主事、
宮澤参事兼施設課長、原参事兼体育課長、渡邊参事兼中央公民館長、今関文化課長、
小泉図書館長、郷土博物館金のすず平野副館長

事務局 ただ今より、平成 26 年度木更津市社会教育委員会議第 1 回定例会を開催いたします。
出席者は、委員 18 名中、現在 11 名です。3 名が遅れるとの連絡がありますが、
社会教育委員会議運営規則第 3 条第 2 項の規定により委員の 2 分の 1 以上の出席がご
ざいますので、会議は成立しております。

なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されて
おりますが、本日の傍聴人はございません。以上、報告させていただきます。

それでは、最初に蘇我議長からご挨拶をお願いいたします。

蘇我議長 皆さんこんにちは。平成 26 年度社会教育委員会議第 1 回定例会のご案内を申し上げ
たところ、ご多用にもかかわらずご出席いただきありがとうございます。心から
感謝申し上げます。本日の会議は非常に重要な会議ですので、忌憚のないご意見をい
ただき、進めていきたいと思っております。ゴールデンウィークは、アクアラインを利用し
て市内だけでなく君津地方、南房総も非常に混雑したと聞いております。もう少しす
ると、ここから見える所に新しく大きな施設ができることになっており、木更津市は
これからどんどん変わっていくことと思っております。こうした変化の中だからこそ、足元
を固めていかなければいけないと思っております。そういう意味でも、私たちが諮問
をいただいたことも、この地区の基礎になるものを作るものだと思います。榛沢委員
長をはじめ小委員会の皆さんには、時間をかけて答申案を作成いただき本当にありが
とうございました。私も小委員会に参加させていただきましたが、毎回毎回充実した
議論がされ、最終的には、皆さんから出されたご意見をうまく表現することができた
のだと思います。最終的な答申案がお手元に届いていると思っておりますので、じっくりと
議論したいと思います。この答申が、今後のこの地域の役に立つものになることを願
っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局 続きまして初谷教育長より挨拶を申し上げます。

初谷教育長 皆さんこんにちは。今、議長からお話がありましたようにゴールデンウィーク明け
の会議ということで大変ご苦労さまです。今年度第 1 回目の会議ということですが、
私たちの諮問に対して論議を重ねてきていただいて答申という形で頂戴いただけるこ
とになりました。この間、私も小委員会の報告や議事録、最終的な答申案を拝見させ
ていただきました。本日は、最終的に調整をして、最終的な吟味を加えて仕上げている

ただければ大変ありがたいと思います。それから、第1回目の会議ということで、社会教育・生涯学習を進める各役員の選出という重要な議題もあります。限られた時間ではございますが、慎重審議をお願いしまして挨拶とさせていただきます。

事務局 ありがとうございます。4月1日付けの人事異動により、退職された本多次長の後任として新たに齋藤良二次長が教育部次長となりましたので、ご紹介いたします。よろしくをお願いします。

齊藤教育部次長 皆さんこんにちは。教育部次長兼教育総務課長の齊藤でございます。どうぞよろしくをお願いします。

事務局 ありがとうございます。時間が前後してしまいましたが、本日は資料が多いので確認をさせていただきます。よろしいでしょうか。

資料確認

それでは、今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により議長をお願いいたします。それでは蘇我議長よろしくをお願いいたします。

蘇我議長 それでは、議長を務めさせていただきます。本日の会議次第をお開きください。なお、出席予定の方が3名遅れて来られるということです。本日は、答申についての審議がありますので、順序を変えて会議を進めていきたいと考えますが、いかがでしょうか。

異議なし の声

蘇我議長 それでは、議事(2)の「各委員の選出について」事務局より説明をお願いします。

事務局

説明

蘇我議長 ただいま、事務局より説明がありましたが、各委員の選考についてどのようにいたしましょうか。ご意見がある方は、お願いいたします。

事務局案はないでしょうか との声

蘇我議長 「事務局案はないか」との声がありましたので、事務局の方に案があればお願いします。

事務局

説明

- | | |
|-----------------------|----------|
| ① 千葉県社会教育委員連絡協議会代議員 | 蘇我 議長 |
| ② 木更津市青少年問題協議会委員 | 李 委員 |
| ③ 木更津市男女共同参画推進委員 | 宮崎(恵) 委員 |
| ④ 木更津市生涯学習フェスティバル実行委員 | 鈴木 委員 |
- 参考：木更津市生涯学習推進協議会委員 宮崎(清) 委員

蘇我議長 事務局より各委員について提案がありました。いかがでしょうか。ご異議がなければ拍手をお願いします。

拍手

蘇我議長 拍手多数ですので原案どおりお願いします。新たに委員をお願いする皆さん、よろしくお申し上げます。

それでは、まだお見えになっていない方もいらっしゃると思いますが、議事(1)に入りたいと思います。昨年8月に木更津市教育委員会から諮問のありました「青少年の自然体験活動の推進方策と少年自然の家キャンプ場の今後のあり方について」につきまして、答申の最終案ができましたので、審議したいと思います。

既に、委員の皆さんには答申案が送られていますので、答申案検討小委員会の榛澤委員長に説明いただいた後、協議し、教育委員会へ答申したいと思います。それでは榛澤委員長、お願いいたします。

榛澤委員長 「答申案検討小委員会」委員長の榛澤でございます。それでは、私の方から、「答申案検討小委員会」の経過と答申内容の概要について、ご報告させていただきます。

まず、「検討小委員会」の会務報告ですが、本日、追加でお配りした答申（案）の 81 ページと 82 ページをご覧ください。昨年度の「定例会」でもご報告させていただきましたように、9 人のメンバーで、昨年 9 月 21 日から 4 月 15 日まで、最終的に、合計 6 回の「検討小委員会」を開催し、検討を重ねて参りました。「検討小委員会」での議論等については、既に、会議録や資料をお配りしておりますので、省略させていただきますが、本当に、毎回、夜遅くまで活発なご意見を頂戴いたしました。委員の皆さんに、この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

次に、答申内容の概要ですが、時間がありませんので、ポイントだけを説明させていただきます。

第 1 章の「青少年の自然体験活動の意義について」は、まず、時代や社会環境等の変化の中で、子どもたちの体験活動の機会が失われつつあり、地域や大人が意図的・計画的に体験活動をさせなければならない状況になっていること。また、こうした状況の中で、「生きる力」を育てていくためには、自然体験活動をはじめ体験活動が子どもたちの成長にとって不可欠であり、大変意義があることについて、さまざまな答申や調査の結果等を参考にまとめております。

第 2 章は、「青少年の自然体験活動の推進方策」についてです。巻末の参考資料にもありますように、現在でも、学校教育や社会教育の場でさまざまな取り組みがされております。しかし、今後さらに青少年の自然体験活動を推進していくためには、第 1 に、乳幼児の早い時期から自然とふれあう機会を設けること。第 2 に、学校教育の教育課程の中における活動には限界があるため、公民館を中心に社会教育活動の中で推進していくことが期待されており、そのために公民館の人的体制の充実を図ることが必要であること。第 3 に、地域の関係団体等と協働しながら、青少年の体験活動を支える人づくりを進めていくこと。これらが重要であることを提言しております。

最後に、第 3 章の「少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」についてですが、まず、基本的に、キャンプ場は、青少年の自然体験活動を推進していくためには格好の施設であり、今後も活用していくことが必要であること。また、手ぶらで来られるキャンプ施設にするというよりも、多少不便でもこれまでのような形で自然体験ができる施設として整備していくことが望まれることを提言しております。そして、具体的には、第 1 に、開場期間の拡大等によって、キャンプ場の利用促進を図っていくこと。第 2 に、キャンプ場施設の補修や整備に当たっては、段階的に進めていくこと。第 3 に、新たな活用方策として、真里谷城跡という文化遺産を生かしながら新たな学習プログラムを開発していくことや、ボランティアの活用、指導者やリーダーの養成等、キャンプ場を支える人づくりを推進していくこと。以上の 3 点が必要であることを提言しております。

なお、本日、追加でお配りした答申（案）は、事前に皆さんにお送りしたものに、

若干の字句や表記の修正、言い回しの変更等をさせていただいたものです。この後、この答申案を、改めて事務局に朗読していただきますので、最終的なご確認をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

事務局 答申（案）読み上げ ー 事務局

蘇我議長 長文の朗読、ありがとうございました。前回の第4回定例会で皆さんから出された意見をもとに、小委員会で検討を加えたものを「最終案」として皆さんにお配りし、さらに最終的に修正したものが本日お配りした「答申（案）」ということです。ご意見・ご質問があればお願いします。

よろしいでしょうか。ご意見がないということであればそういうことで進めてまいります。よろしいでしょうか。

異議なし の声

ご意見がないようですので採決を行います。ただ今読み上げられました答申（案）に賛成の方は挙手をお願いします。

挙手全員

蘇我議長 ありがとうございます。それでは全員の賛成をいただきましたので、このままの形で答申したいと思います。

議長・教育長 正面へ

平成26年5月8日、木更津市教育委員会様、木更津市社会教育委員会議長蘇我芳草、「青少年の自然体験活動の推進方策と少年自然の家キャンプ場の今後のあり方について」（答申）、平成25年8月24日付け木教生学第206号によります貴教育委員会からの諮問につきまして、別紙のとおり答申いたします。

蘇我議長から初谷教育長へ答申書を手渡す

初谷教育長 ただ今、蘇我議長から答申をいただきました。大変重厚な答申でありますけれど、このページ数の裏に倍する議論と時間と委員の方々のご労苦があったことを肝に銘じて頂戴したいと思います。ここで答申されていることについて、直ちにできることと、時間を要すること、他の部課との調整等が必要な課題も多いですので、今日いただいた答申を事務局として真摯に受け止めて、これからの社会教育・生涯学習行政、とりわけ青少年健全育成に意を注いで参りたいと考えております。本当にありがとうございました。

蘇我議長 昨年の8月から検討作業を進めて参りましたが、皆さん本当にどうもありがとうございました。それではここで休憩をとりたいと思いますのでよろしくお願いします。

休憩（5分）

蘇我議長 それでは時間になりましたので休憩を解き、会議を再開したいと思います。引き続き次第に従いまして、報告事項に入っていきたいと思います。本日はご多用の中、社会教育・生涯学習の関係各課長さん等にお集まりいただいております。平成26年度生涯学習・社会教育関係重点目標及び主要事業について、ご報告、ご説明をお願いしたいと思います。なお、全ての説明が終了してから質疑の時間をとらせていただきますのでよろしくお願いします。

事務局

説明

(1) 生涯学習課

石井課長

(2) 施設課

宮澤参事兼課長

(3) まなび支援センター

市原所長

(4) 文化課	今関課長
(5) 郷土博物館金のすず	平野副館長
(6) 体育課	原参事兼課長
(7) 中央公民館	渡邊参事兼館長
(8) 図書館	小泉館長

蘇我議長　それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありますでしょうか。
青木委員　施設課にお聞きしたいのですが、学校の耐震補強工事が終わった後に公民館等を行うというお話ですが、日程等はある程度決まっているのでしょうか。

宮澤施設課長　学校施設の耐震化については、平成 27 年度末までにと文部科学省が方針を出しておりまして、木更津市においても平成 27 年度末までに耐震化を完了させようというところで取り組んでおります。ただ、中郷小学校、中学校については施設に問題があり、27 年度末までには難しいところがあります。公民館については、耐震診断が中央公民館しか終わっていませんので、なるべく短期間のうちに耐震診断を行いたいと考えていますが、時期については未定です。なお、耐震化については、現状ではどの施設がどの程度の耐震性能を持っているのかを把握できていないので、耐震診断の結果次第になってくると思います。

蘇我議長　よろしいでしょうか。他の方どうぞ。
内田委員　金田公民館についてお伺いしたいと思います。「新しい地域づくりに向けた公民館の整備計画」については、社会教育委員の中で小委員会を作って答申をさせていただきました。先ほど、生涯学習課長さんと施設課長さんから説明がありましたが、もしかしたら全然進んでいないのかなと感じました。確か昨年の説明では、国の補助金等をもって土地を先行取得するというお話だったと思いますが、どうなっているのでしょうか。あの答申の中でも、これから発展するまちである金田地区の拠点施設として新しい公民館が必要であるとしていたと思います。今年度の施策の中にも、金田公民館（仮称）金田地域交流センターの整備とありますので、是非、今後の方向性等についてお聞かせいただければと思います。

石井生涯学習課長　昨年 3 月、「新しい地域づくりに向けた木更津市立公民館の整備計画について」、社会教育委員の皆さんから答申をいただきました。その中で、人口急増地域や金田地区のような急激に発展している地域には、市民の学習と交流の拠点として新しい公民館を検討する必要があるということだったと思います。実際、社会資本整備総合交付金という国の交付金を活用して、平成 25 年度に約 6 千㎡の公民館用地を取得することができました。そして、教育委員会として、金田公民館の整備計画（素案）を作成し、教育委員会議会で説明するなど教育委員会内部で共通認識を図り、それを基に企画課や財政課と協議してきたのですが、厳しい財政事情の中、金田公民館の整備については「スケジュールの見直しも含めて庁内調整を図ること」とされました。平成 26 年予算では建設のための予算の計上が見送られ、それ以降の予算の目処もたっていない状況です。ただ、教育委員会としては、金田地区のまちづくりを進めていくという大きな視点と交付金を活用していくという方向で、金田公民館を整備したいと考えています。ただし、交付金を活用するには、事業が始まってから 5 年間という期限がありますので、平成 28 年中に事業を終了しなければなりません。設計や建設には概

ね 3 年間かかると聞いておりますので、なんとか平成 26 年度中に補正予算等で建設に着手できるよう、庁内での協議を進めていきたいと考えています。

内田委員 今年度中に補正予算を組めなければ、計画は白紙になって、土地を購入にした交付金は国に返還するということになるのでしょうか。

石井生涯学習課長 今後、県や国との調整もあると思いますが、県のヒヤリングでは、なるべく交付金を活用して計画年度等内に事業が完了するようにしてほしい、とのことですので、その方向で努力したいと思います。しかし、完了できない場合は交付金を返還してもらう場合もある、ということです。

地曳委員 私も、小委員会に参加した委員の一人として、今後の庁内調整を有利に運ぶために、社会教育委員として何かできることがあれば教えていただきたいと思います。

齊藤教育部次長 教育委員会を応援して下さるようなご意見をいただき、本当にありがとうございます。ただ、木更津市の意思決定をするための機関として各部長等で組織されている経営調整会議や経営戦略会議というものがありますが、この案件は現在、経営戦略会議に掛けられており、先ほど生涯学習課長が申したような現状になっています。しかし、国に出した交付金の申請でも基幹施設という位置づけになりますので、教育委員会としては重要な案件であり、是非進めていきたいと考えており、他の部局にも強く働きかけていきたいと思います。ただ、これはあくまでも庁内の意思決定になりますので、大変申し訳ありませんが、社会教育委員の皆さんが直接何かをするというのは難しいのではないかと思います。

地曳委員 今のお話を聞くと、庁内調整と言いながらマイナスの方向になっているような感じがします。平成 28 年度までに完成することができず交付金を返還しなければならない事態に陥る可能性というのは、実際、どの程度あるのでしょうか。

石井生涯学習課長 数字で表すのは難しいですが、教育委員会としては、なんとしても交付金を活用して金田公民館を建設したいと考えています。

内田委員 教育委員会には、公民館をつくりたいという強い意思があるということですよ。平成 24 年度の答申に関わった者として、あの答申の中で、金田公民館を想定して、新しい公民館を作るべきだという提言をしたつもりです。実際、土地も確保できて良かったなあと思っていたところです。庁内調整は庁内調整として、我々の下からの意見として、社会教育委員の意思統一ができれば、是非、木更津市として作っていただきたいという意見を、社会教育委員として述べたらどうかと思ったのですが、いかがでしょうか。

蘇我議長 内田委員からそのようなご意見がありましたが、皆さんいかがでしょうか。

地曳委員 私は賛成です。

榛澤委員 公民館を是非作ってほしいと考えています。

蘇我議長 この中に答申案検討小委員会のメンバーもおります。私もそうでしたが、一緒に議論をしてきましたので、気持ちはよくわかります。内田委員の提案について他の方はいかがでしょうか。この間、さまざまな議論をしてきましたが、公民館の位置づけは非常に重要であると認識しておりますし、ここのところは譲れないと思います。今回のキャンプ場についての答申においてもそうでしたし、先ほど、青木委員から公民館の耐震化の話がありました。社会教育委員の皆さんは、公民館に対する思いは非常に強いと思っています。もし皆さんが同じご意見であれば、教育委員会にお願いするとい

うこともできるかなあとと思いますが、いかがでしょうか。

内田委員 是非そうしてもらいたいと思います。

蘇我議長 社会教育法で、「社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる」ことになっています。かなり昔になりますが、かつて、社会教育委員の意思として、教育委員会で意見を申し上げたこともあります。いかがでしょうか。

宮崎委員 以前、答申した時に、金田公民館はできるものだと思っていたので、ちょっとびっくりしています。ですから、意見を言った方が良くと思います。

武田委員 私もそう思います。具体的には、文書を提出するのですか。

蘇我議長 以前は、口頭で行いましたが、文書でも良いと思います。

榛澤委員 金田地区の方では、要望等は出ていないのですか。

石井生涯学習課長 昨年度、市議会で、金田公民館についての質問がない議会はなかったです。地元市議も含めて、毎回、質問がありました。

石村委員 国の交付金というのは、用地購入費だけですか、建設費も含めてですか。

石井生涯学習課長 用地購入費と建設費に対する交付金で、補助対象経費 40%が国の交付金として交付されることになっています。

石村委員 そうすると、残りの経費は市が出すということになりますよね。その優先順位が低いということになるのでしょうか。

野中委員 実際、平成 28 年度までに公民館の建設を完了できる可能性というのはあるのでしょうか。

石井生涯学習課長 今年度の当初予算では計上することができませんでしたが、9 月補正で設計の予算が確保できれば、ぎりぎり間に合うのではないかと思います。

野中委員 それまでに何とかなるように、私たちの声が届くようにすれば良いということですね。

蘇我議長 庁内調整には次長が出席されるのですか。

齊藤教育次長 現在、部長が不在ですので、調整会議には私が出席して意見を述べたいと思います。金田公民館については、教育委員会の中で非常に重要な施設と考えています。昨年の調整会議に諮った段階では、預かりの状態、上の段階にもっていきなかつたということです。本来、国の交付金をもらうために、基幹事業として位置づけて申請をしているわけですから、教育委員会としてはその辺のところを再度訴えて、皆さんの了解を得て予算化したいと考えています。これは頑張るしかないと思います。

蘇我議長 あまり時間がないということです。社会教育委員として何かするとなると、教育委員会議に出席して意見を述べるということになると思いますが、皆さんいかがでしょうか。急にこんな話しになりましたので、準備をしておきませんので、スケジュール等について、副議長と相談させていただいて進めていくということによろしいでしょうか。

異議なし の声

蘇我議長 それでは、その方向で進めさせていただきます。その他にご意見はありますでしょうか。

地曳委員 4 点ほど要望があります。まず、放課後子ども教室についてです。社会教育委員になって 4 年目ですが、8 教室から増えていませんので、推進するということですので、

是非増やしてもらいたいと思います。2点目は有害環境浄化の推進についてです。私が青少年補導員の時に、市原先生にお世話になって、小中学生の児童生徒と保護者を対象に携帯電話の利用調査を行いました。有害環境浄化活動としてネットパトロールだとか、仮想空間というような説明がありましたが、スマートフォン等の高機能の携帯電話による環境悪化については触れられていなかったもので、具体的な施策として文章化してもらえるとありがたいと思います。3点目は公民館の若者向け事業についてです。公民館の326事業中、青少年対象の事業が97事業とのことですが、青年対象の事業は非常に少ないのではないのかと思います。昔、渡邊館長と中央公民館の青年学級を一緒にやっていたので、状況はよくわかるのですが、実際は公民館の事業の中でがんばってもらうしかないと思います。最後に、文化財についてです。先日も博物館金のすずで金鈴塚古墳の企画展が開催されましたが、13万市民の中で企画展の期間中の来館者は1万人もいないのですね。残念ながら、市民にあまり知られていません。私は、木更津市を代表する誇れるものは、個人的にDNA研究所と、干潟と金鈴塚古墳だと思っています。そして、木更津市の小中学生は、DNA研究所と干潟と金鈴塚古墳にやたら詳しい、というのが理想です。金鈴塚古墳は木更津市、ないしは日本の宝であるということを知らせてほしいと思います。

蘇我議長　それでは、地曳委員の要望に対して何かありますか。

今関文化課長　貴重なご意見をいただきありがとうございます。実は本日、教育部次長、博物館長等にご足労いただき、県の文化財課に、金鈴塚古墳の出土品の国宝化についてお力添えいただけるようご挨拶かたがた伺ったところです。金鈴塚古墳の出土品は、展示されていないものも含めて非常に貴重なものがあります。過去にはドイツに貸し出しを行ったこともあり、考古の世界では非常に有名ですが、一般の方々にはまだまだ浸透していないようですので、もっともっと市民の皆さんにも知っていただけるような事業の進め方をしたいと思います。これまでも学校へ出向いて説明等をしておりますが、そういう機会がありましたらお声をかけていただければ、学習のお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願ひします。

石井生涯学習課長　放課後子ども教室については、今年度、清見台小学校区で新たに発足する予定です。これまで活動していた鎌足小学校区で、地域の大人の支援が得られないということで休止することになり、結果的に実施数は変わらないということになってしまいましたが、できるだけ新しい教室を開催できるようにアプローチしていきたいと思っています。

蘇我議長　ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

武田委員　人権学習会のご紹介です。アクアラインマラソンの1週間前ですが、10月11日(土)、木更津市民会館において「ヒューマンフェスタ in 木更津」を人権擁護委員協議会で開催することになっています。講師として、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会の横田ご夫婦をお招きする予定になっています。正式には今月の総会で決まるのですが、ご紹介させていただきますのでよろしくお願ひします。

石井委員　答申の中でもふれられていますが、文化財としての真里谷城跡を活用したキャンプ場の利用促進にあたって、文化課も一緒になって推進していただけるとありがたいと思います。次に、これも要望ですが、芸術文化活動の推進ということで、木更津の注目度が上がっていますので、美術館を建設するのは大変ですので、現代美術・芸術の

オブジェを人が集まるアーケードに設置するとか、何か方策を検討していただけるとありがたいと思います。

蘇我議長 最後に、私の方から意見を述べさせてもらってよろしいでしょうか。先ほど、地曳委員からスマートフォンについてのお話がありましたが、昨年の新入社員に色々トラブルがありましたので、今年は、警察署の方を講師にお願いし研修を行ったところ、被害をまったく聞いておりません。なかなか目に見えないので見過ごしがちですが、そうした問題の大切さを改めて実感しています。

それではよろしいでしょうか。以上で質疑を終了させていただきます。各担当課長の皆さんはここで退席されます。本当にありがとうございました。

続きまして、報告事項の(2)その他について、何かありますでしょうか。

君津地方社会教育委員連絡協議会について 事務局から説明

蘇我議長 ご意見・ご質問等、ありますでしょうか。

他に特にないようですので本日の会議を閉じさせていただきます。皆様の協力で本日の定例会を無事終了することができました。

ありがとうございました。

事務局 長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも本市の社会教育活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。それでは平成 26 年度木更津市社会教育委員会議第 1 回定例会を終了いたします。どうもありがとうございました。